



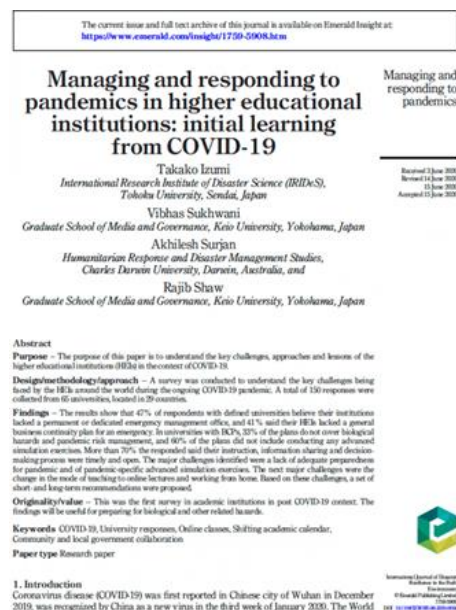
Outstanding paper (Emerald Literati Award 2022) を受賞しました (2022/10/27)

テーマ : COVID-19, Higher Educational Institutions (HEIs)

URL : <https://www.emeraldgrouppublishing.com/journal/ijdrbe/international-journal-disaster-resilience-built-environment-literati-award-winners-1>
<https://www.emeraldgrouppublishing.com/our-awards/emerald-literati-awards>

2020年6月に国際ジャーナル「International Journal of Disaster Resilience in the Built Environment」に掲載された泉貴子准教授（国際防災戦略研究分野）と3名の共著者による国際共著論文「Managing and responding to pandemics in higher educational institutions: initial learning from COVID-19」が、2022年のEmerald Literati Award「Outstanding paper」を受賞しました。

この論文では、新型コロナウイルス感染症の流行が大学教育に与えた影響、大学のパンデミックへの備えの現状などについてアンケート調査に基づいて分析し、回答した51大学のうちBCPなどを備えている大学は60%にすぎず、そのうち70%がパンデミックも対象としていたことが明らかとなりました。今後、様々な災害リスクが高まる中、災害リスクガバナンスの強化のため、大学はあらためてBCPなどの必要性を理解し、早急に準備することが重要です。その一方で、この機会にコロナ禍に対処するための様々なイノベーションや対策が生まれ、オンライン授業などを活用した教育活動が継続されました。しかしながら、そのレベルは先進国と途上国でも異なり、途上国ではインターネット設備を全学生に提供することが難しいため、コロナ禍では大学を閉鎖せざるを得なかったなど、対応へのギャップも見受けられました。また、英語圏の大学では留学生の激減により、財政的な理由から閉鎖となる大学も数多くありました。新型コロナウイルス感染症の大学や高等教育機関に与えた影響は様々ですが、この経験をもとに、将来の感染症を含めたあらゆる災害リスクにどのように備えるべきかを、大学も検討することが不可欠です。



文責：泉貴子（国際防災戦略研究分野）